

様式第1号（第4条関係）

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

令和4年4月28日

(あて先)

さいたま市長

所在地

団体名 さいたまつくりての輪

代表者氏名 塚田真知子

注 署名によらない場合は押印してください

下記により、令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金（一般助成事業・団体希望助成事業）の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 777,160 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



事業計画書

団体名	さいたまつくりての輪
-----	------------

*事業の概要	
事業の名称	*この事業は、何という名前ですか? 手をつなごう！さいたま市民活動夢マルシェ
事業の分野とその概要	*この事業の分野は、どのような分野ですか？ □（四角）に☑（チェック）を入れてください。 また、この事業を文章で短く言い表すと、どのようになりますか？（100字程度） <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 社会教育</div> <div style="width: 50%;"><input checked="" type="checkbox"/> まちづくり</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 観光</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 農村漁村</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツ</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 環境</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 災害救援</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 地域安全</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 人権・平和</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 国際協力</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 男女共同参画</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 子ども</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 情報化社会</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 科学技術</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 経済活動</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 職業・雇用</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 消費者保護</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> その他</div> </div> 浦和駅東口市民広場で複数の団体が参加し「手をつなごう！さいたま夢マルシェ」イベントを開催。市民活動への関心や理解を深めることをめざします。
協働を希望する担当	*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？ 市民協働推進課
マッチングファンドの申請回数（前回の結果）	*マッチングファンドの申請は何回目ですか、回数をお答えください。 また、過去にマッチングファンドの利用実績がある場合は、前回の助成事業の振り返り（効果・成果）を記入してください。 2 回目（前回助成を受けた年度：令和3年度） 昨年度の結果：コロナ禍のなか、日程の変更をしながら7月18日(日)、10月10日(日)、11月21日(日)と3回実施しました。各団体の展示販売、ワークショップ、フラグスや演奏など舞台発表、など多彩な活動をし、各団体から提供された景品を利用し、スタンプラリーで参加者に色んな団体ブースを回ってもらいました。また、市民活動について市民からアンケートを実施しました。市民からの声は楽しかった、市民活動を知ることができたなどの声を聞きました。参加者は延べ6000人を超えました。またやってほしいとの声が参加者や市民からも寄せられました。
対象者	*この事業は、誰を主な対象に実施しますか？ 市民活動をあまり知らない市民
実施期間	*この事業は、いつからいつまでに実施しますか？ 令和 4 年 5 月 ～ 令和 5 年 2 月
総事業費	*この事業は、いくら資金が必要ですか？（そのうち助成金はいくらですか？） 874,660 円（助成金交付申請額 777,160 円）
事業のテーマ	*市が募集するテーマに限り、この事業のテーマを記入します。

団体名	さいたまつくりての輪
-----	------------

1	現状における課題と事業の目的
<p>*この事業は、何を課題としてとらえましたか？（課題：地域や市民等にある解決が必要な事柄）</p> <p>昨年度市民活動を周知するイベントとして、「手をつなごう！さいたま市民活動夢マルシェ」を3回実施しました。イベントを開催して、興味を持ったけど、市民活動という言葉がそもそも知らない、馴染みがない人が多いと感じました。中には、自分のしている活動が、マルシェでの交流を通して実は市民活動だと知ったという人もいました。こうした経験を踏まえて市民活動という言葉に馴染みをもってもらう、市民活動にチャレンジしてみることを身近に考える機会がまだまだ不足していることが課題と考えます。</p>	
<p>*この課題に対し、行政（国、県、市）が実施している施策をどう考えましたか？</p> <p>行政でも、市民活動サポートセンターフェスティバル等、市民活動を周知するイベントが開催されていますが、年に1回の開催と、市民への意識啓発としては不十分な実施回数と考えます。</p> <p>また、行政主導のイベントは制約が多いため、楽しいイベントが開催しにくく集客が不十分と考えます。多種多様な市民活動団体の力を借りて実施したいと思います。</p>	
<p>*この事業は、何を目的に設定しましたか？</p> <p>（目的：課題に対応して何をを目指すのか。課題が解決したときの、地域や市民等が得られる理想の姿。）</p> <p>市民活動という言葉に馴染みを持ち、関心を持つ市民が増えること。</p>	

2	事業の具体的な内容
<p>*この事業は、どんな手段で課題を解決しますか？（いつ、どこで、だれが・だれに、なにを、どうするの視点で）</p> <p>※目的を達成するための事業が複数ある場合には、事業①の欄を追加（挿入）してください。</p>	
事業①の事業名	手をつなごう！さいたま市民活動夢マルシェ
いつ（ころ）	6月、9月、11月（日曜日1日計3日）
どこで	浦和駅東口駅前市民広場
だれが（主体）	（主体） さいたまつくりての輪及び他団体、市民協働推進課
だれに（対象）	（対象） 市民
なにを	市民活動に触れる催事 市民がマルシェに参加し、楽しんで、各団体の活動を知ってもらう
どうする	イベントの開催。当イベントに参加する各団体が、来場者の市民にワークショップや活動内容の広報物による周知、団体の製品の販売などで活動内容を伝える。 また、市民活動への参加のきっかけとなるよう市民活動サポートセンターの紹介を行う。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたまつくりての輪
-----	------------

3 事業により期待できる成果・効果

*この事業が、直接的に達成できることは何ですか？また、その達成できたことによって、地域や市民にどんな良い影響がありますか？
(団体、市、参加者など事業に携わるすべての人に波及する成果、効果を書いてください。)

浦和駅前で当イベントを開催することで、多くの市民活動に触れることのない市民に、「市民活動」という言葉を知ってもらうことができます。また、市民活動団体側は、多くの人に団体の活動を周知することができます。多くの人に「市民活動」という言葉の認知が広がることで、市民活動に参加しようとする市民、市民活動を応援しようとする市民が増え、市の市民活動が促進され、地域社会の活性化につながることを期待されます。

4 この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性

*この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたことはどんなことですか？

当団体はつくりて、クリエイター、個人が集まったハンドメイドを中心とするグループです。QOL(クオリティオブライフ)向上の大きな要因となる趣味や学び、繋がりを通して、生きがいづくりを応援するための「コト体験」を市民の方々に提供しています。マルシェ等の出店や、ワークショップを協力して開催したり、講師の派遣を行っています。具体的には新都心けやきの下広場で「けやきの下マルシェ」に月1回参加しています。また、県男女共同参画センターの県民の日に「親子で遊ぼう」ワークショップの開催。市内のギャラリーなどとコラボして短期間のイベントを開催しています。昨年度は「夢マルシェ」をさいたま市、市民活動団体12団体で共催しました。

*この課題に関連して、団体もつ強みや生かせるノウハウはどんなことですか？

多世代のクリエイターの集まりなのでそれぞれ特徴のある技術を持っている人たちの集まりで人材が豊富です。SNSを使った宣伝活動が得意です。また、活動の中でネットワークを幅広く持っています。昨年度夢マルシェを開催した実績もあるため、市民が楽しんで参加しやすくなるような市民活動を周知するイベントの開催ができると考えます。

*この課題に取り組む団体の思い(熱意・姿勢)はどんなことがありますか？

市民の生きがいづくりとして市民活動が有効と考え、そのために市民活動を周知する必要があります。人生100年時代を見据え、一人ひとりが孤立しないで仲間を作り、豊かに暮らせるよう、つながりを通して市民の生きがい作りを応援していきたいと考えています。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたまつくりての輪
-----	------------

5	市との協働に期待すること
*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？（再掲）	
市民協働推進課	
*この事業における、市との協働の意義、協働の内容はどんなことですか？	
市民活動については市民活動サポートセンターで、活動の促進を行っているところだと思います。その一つとしてサポセンフェスタで市民活動の周知を行っていますが、市民広場でサポセンフェスタの他にもイベントの開催を行うことで市民活動のさらなる周知ができ、市との協働の意義があります。市に対して協働してもらいたい内容は市報等を利用した広報の手伝い、市との打ち合わせで、より魅力的なイベントとなるための話し合いができます。ご協力お願いします。	
*この事業に関して、市と協働するにあたって、どんなことを協力、支援、実現してほしいですか？「 」に具体的に書いてください。	
■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援	■市が持つ施設などの資源による協力・支援
「 イベント用物資の一元管理 」	「 市民広場の優先的利用 」
「 当日の運営協力 」	「 会議室の優先予約 」
「 」	「 」
「 」	「 」
■市が持つ発信力・情報(提供)の資源による協力・支援	■その他
「 広報での宣伝、公共施設へのチラシの配置 」	「 」
「 」	「 」
「 」	「 」
「 」	「 」

6	助成終了後の事業展開
*この事業は、マッチングファンド助成終了後（※）にどんな事業展開を考えていますか？	
※特に翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。	
次年度以降も継続して市民広場でイベントを開催できるような体制を整えます。市民活動をさらに周知するため、参加団体を増やし、行政と協働してイベントを開催していきたいと考えます。今後の資金調達は参加者からの参加費や、賛同企業からの寄付などで資金を集めていきたいと思っています。本イベントにおいて活動を周知するとともに紙媒体だけでなく、SNSを活用した活動をさらに促進し、活動を発信していきます。	

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたまつくりての輪
-----	------------

7	事業の詳細な計画
事業①	手をつなごう！さいたま市民活動夢マルシェ
<p>*事業の計画はどのように考えていますか？ 準備、活動、振り返り等について、体制、実施する時期、どこで、だれが（参加者の属性や人数などを含む）等具体的に何を行うか記入してください。 ※目的を達成するための事業が複数ある場合は、事業②の欄を追加（挿入）してください。</p>	
実施時期	実施内容
令和4年5月	当団体及び市によるミーティング
開催日の2カ月前	1.参加団体へのイベント説明会（目的、目標、内容などを説明）（当団体と市による共催）
開催日前	2. イベント打ち合わせ（参加者の確認、タイムスケジュール等）（当団体、市、参加団体）1回 3. 担当ごと打ち合わせ（当団体） 2回 4. 準備（当団体、参加団体）チラシポスティング等
開催月第2週	5. イベント実施（日曜日）
開催月第4週	6. 反省会（当団体、市、参加団体） 7. 振り返り、次回に向けて（当団体主要メンバー）
	1から7を1サイクルとして、6月、9月、11月、全3回実施
令和5年2月下旬	8. 1年間の振り返り イベントの様子をSNSにアップし、翌年度の活動につなげる
2月下旬	9. 報告書の作成、提出

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたまつくりての輪
-----	------------

8 事業の実施体制		
* 団体において、事業の実施に関わる人はだれですか？この事業における具体的な役割と併せて記入してください。 ※ 事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。		
氏名	団体における役職等	この事業における役割
塚田 真知子	代表	統括責任者
		責任者
		会計
		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ

9 他団体との連携状況	
* この事業は、他団体と連携(※)していますか？またはその見込みはありますか？ ※ 企業、学校、地域の団体（自治会、PTA等）、NPO、ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。	
参加団体 1、さいたま有機都市計画 2、埼玉デザイン協議会 3、埼玉骨髄バンク推進連絡会 4、ココロ研究所 5、公益財団法人陶芸文化振興財団岩槻教室 6、クルド文化教室 7、Jリーグの理念を実現する市民の会 8、ムジカキャンパス 9、レモネードスタンド 10、いっかん張りを広めるの会 11、みんなの居場所	

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計 (A)		(a) + (b)	874,660
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d) と同額	97,500
団体の自己資金	① 自己資金	さいたまつりでの輪20000×3回	60,000
	②		
	③		
費用の徴収	④ 参加団体(販売ブース)	2000×5×3回	30,000
	⑤ 参加団体(紹介ブース)	500×5×3回	7,500
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c) と同額	777,160

<支出>

区分		算出根拠	金額
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	874,660
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 謝金・報酬	有償ボランティア(会場設営)(連続搬出) 1000円×6人×4時間×3回	72,000
	② 旅費	無償ボランティア延べ人数372人×500	186,000
	③ 消耗品費	感染症対策に係るマスク、消毒液、イベントに係る文具、装飾品等	22,000
	④ 印刷製本費	見聞誌チラシ4000部、19170円×3回 A4チラシ6000部11050円×3回 ポスター 3500円	99,660
	⑤ 役員費(通信運搬費等)	団体募集チラシ2千枚5500円	5,000
	⑥ 使用料	郵送料5000円(団体募集、チラシ配布等)	3,600
	⑦ 保険料	搬入搬出駐車料1200×3回	17,400
	⑧ 委託料	5800×3回	20,000
	⑨ 賃借料	総額45,000円の内助成金充当分(内訳) 周知用の記録、写真、動画 10000円×3回 動画1回分5000円 チラシデザイン(構成含む)10000円	351,500
	⑩	テント・テーブル・椅子・おもり 117000×3 メガフォン500円	
助成金充当経費計 (c)		①～⑩の合計 (b) と同額	777,160
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 委託料	総額45,000円の内助成金を超える分 内訳は⑧参照	25,000
	⑫ ⑬ ⑭		
助成対象外経費	⑮ 備品代	事業に附随して必要な経費 [(c)の10%以内]	20,000
	⑯		
	⑰		
	⑱		
	⑲ 事務局人件費(外部への交渉作業・交通費含む)	新規団体への参加交渉、見学、業者との納品作業 (3人×(1500円(3時間)+交通費1000円))×7回以上の予定(マルシェ1回開催につき2~3か所を予定)	52,500
	⑳		
自己資金充当経費計 (d)		⑱～㉑の合計 (a) と同額	97,500

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

自己資金を3倍にした金額(e)		=(a)×3	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
292,500	97,500	×	3 倍

労力換算額(無報酬で事業に参加する市民の労力を金額に換算した金額)(f) =1~10の計			
金額	算出根拠		
531,000	番号	事業の実施時期・内容 算出根拠[人数×時間×500円]	金額
	1	開催日の2か月前 2時間×3開催 参加団体へのイベント説明会・自己紹介 10人 × 6時間 × 500円	30,000
	2	開催日前 2時間×3開催 イベント全体打ち合わせ、準備 16人 × 6時間 × 500円	48,000
	3	開催日前 3時間×2回×3開催 チラシ・舞台・設営・装飾・景品 担当打ち合わせ、準備等 20人 × 18時間 × 500円	180,000
	4	開催1か月前 2時間×3開催 チラシ仕分け・ポスティング(浦和駅周辺) 16人 × 6時間 × 500円	48,000
	5	開催当日8時間×3開催 当日 6人 × 24時間 × 500円	72,000
	6	開催後2時間×3開催 反省会 20人 × 6時間 × 500円	60,000
	7	開催後2時間×3開催 振り返り 6人 × 6時間 × 500円	18,000
	8	通年5時間×10回 運営会議・会計・資料作成に係る打ち合わせ 3人 × 50時間 × 500円	75,000
	9		自動計算
10		自動計算	

助成金限度額(Z)		=(e) + (f)	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
823,500	292,500	+	531,000

助成金交付申請額(b)	≤	(Z) 助成金限度額
777,160 円	≤	823,500 円

※助成金の限度額は、1,000,000円です。

無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・ 内容の番号	氏 名 注 署名によらない場合は押印してください	住 所
1.2.3.4.5. 6.7.8		
1.2.3.4.5. 6.7.8		
1.2.3.4.5. 6.7.8		
2.3.4.6.		
2.3.4.6		
2.3.4.6		
2.3.4.5.6 7		
2.3.4.5.6 7		
2.3.4.5.6 7		
2.3.4.6		
2.3.4.6		
2.3.4.6		

- * 助成金限度額計算書（別紙2の2）で記入した「事業の実施時期・内容」の番号に合わせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。
- * 実績報告書に添付する際は、氏名欄に参加者の自署または記名押印をしてください。
- * 記入欄が不足する場合には、当誓約シート（別紙2の3）を追加してご記入ください。

無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・ 内容の番号	氏 名 注 署名によらない場合は押印してください	住 所
1.3.6		
3.6.		
1.3.6.		
1.3.6.		
1.2.3.4.6.		
1.2.3.4.6.		
1.2.3.4.6.		
1.2.3.4.6.		

- * 助成金限度額計算書（別紙2の2）で記入した「事業の実施時期・内容」の番号に合わせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。
- * 実績報告書に添付する際は、氏名欄に参加者の自署または記名押印をしてください。
- * 記入欄が不足する場合には、当誓約シート（別紙2の3）を追加してご記入ください。

団体概要

(ふりがな)		さいたまつくりてのわ	
団体名		さいたまつくりての輪	
(ふりがな)		つかだ まちこ	
代表者		塚田 真知子	
連絡責任者	(ふりがな)		
	氏名		
	住所		
	電話/FAX		
	E-mail		
設立年月日		2020 年 1 月 5 日	
団体の目的		つくりて、クリエイター、個人が集まったグループ。マルシェ等への出店やワークショップを協力して行う。依頼を受け講師の派遣もおこなう。QOL（クオリティオブライフ）向上の大きな要因となる趣味や学び、繋がりを通して、生きがい作りを応援するための「コト体験」を地域の方々に提供し、サステイナブルな生活の応援をしています。	
会員数		個人会員 38 名	団体会員 0 団体
さいたま市内における主な活動内容		毎月1回さいたま新都心のけやき広場 1Fのけやきの下マルシェに出店。市内3カ所のカフェギャラリー等での出店、その他依頼されたところでハンドメイドワークショップを開催しています。	
団体の財政規模		本年度予算（令和3年1月～令和3年12月）	
		<収入の部>	
		会費収入 302 千円	事業費 330 千円
		寄附収入 0 千円	管理運営費 0 千円
		事業収入 0 千円	その他支出 30 千円
		その他収入 58 千円	
		計 360 千円	計 360 千円
		前年度決算（令和3年1月～令和3年12月）	
		<収入の部>	
		会費収入 110 千円	事業費 271 千円
寄附収入 0 千円	管理運営費 0 千円		
事業収入 179 千円	その他支出 393 千円		
その他収入 393 千円			
計 682 千円	計 664 千円		
添付書類		<input type="checkbox"/> □（四角）に☑（チェック）を入れてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 定款又は会則等 <input checked="" type="checkbox"/> 正会員の名簿ならびに最新の役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度の団体の活動予算書 <input checked="" type="checkbox"/> 直近1事業年度分の活動計算書（収支計算書） <input checked="" type="checkbox"/> 成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面（任意団体のみ） <input checked="" type="checkbox"/> 団体目的等についての確認書（任意団体のみ） <input type="checkbox"/> その他（ ）	